



瞳かがやく 附属松本中の子ら

# すずかけの森

令和7年3月18日(火)

信州大学教育学部

附属松本中学校

学校だより No. 9



## ご卒業おめでとうございます



寒さの厳しい冬が終わりを告げ、春のうららかな日差しが降りそそぐ中、明日は卒業式を迎えます。卒業生 152 名が巣立つ時、それは、新たな道へ大きな一歩を踏み出す時。附属中での学びを生かし、大いに活躍されることを願っています。17 日に行われた「3年生を送る会」では、1・2 年生から心のこもったメッセージとして「絆」の合唱や附中の応援を 3 年生に届けました。3 年生は「正解」を立派に歌い上げ、附属中を後輩たちに託しました。今年度の附属中をともに創り上げてきたメンバーで、温かく優しさのあふれる時間を過ごすことができました。



明日 19 日(水)の卒業式をもって、本年度を締めくくります。明るく元気に前向きに学校生活を創り上げていく本校生徒のたくましさを存分に發揮した一年でした。この間、保護者の皆様からいただいたご理解とご支援に心より感謝申し上げます。

### 後期終業式 校長先生のお話

## 「附属中で学ぶということ」

校長 丸山 剛生

先日、雪が降りました。校舎周りが雪でいっぱいになりましたが、そのあと続々と外に出て雪をかいてくれる生徒がいて大変ありがたかったです。あっという間に昇降口前がきれいになりました。



こちらの写真は、D棟学習室前を 3D・1B の生徒が、この 1ヶ月余りの清掃時間を使ってきれいにしてくれた様子です。大変ありがたいことです。



11月8日のことです。一般の方からお礼の連絡がありました。セブンイレブン付近で、お電話くださった方のお母様が転んでいたところ、通りかかった本校の生徒が、近くの老人ホームへ助けを呼びにいってくれたとのこと。生徒さんの名前を聞くことができませんでしたが、本当に助かりました。とにかくお礼をお伝えしたくてと、わざわざご連絡くださいました。

2月5日のことです。下校時、1年の生徒が自転車を押して帰っていた際（自転車はチェーンが外れており、自力で直せない状態だった），名前も知らない先輩が声をかけてくれ、自転車を直してくれたそうです。名前も知らない1年生なのになぜ助けたのかあとで尋ねたところ、「困っていたから」と答えたそうです。

また、ある朝、通学路で、小学生のケンカが起きました。それを目撃した1年生の報告によると、小さい子のほうが倒れて泣いており、自分もそこに入ろうと思ったところ、3年生がすでにに入って仲裁してくれていたそうです。

この学校には、このようなすばらしい生徒がたくさんいます。1月9日に「残り姿」という話をしました。このような残り姿をいくつも残してくれたこの附属中の生徒に感謝したいと思いました。私たちは、学校目標「たくましく心豊かな地球市民」「自主 創造 愛他」に向かってきました。どうだったでしょうか。ぜひ、自分の姿を振り返り、次につなげていきましょう。

3月8日の土曜日、2Aが子ども食堂を開きました。200人を超える人たちが来られたということです。豚汁や防災食を振るまいましたが、とても大変だったと思いません。でも、見事にやり遂げました。



こちらは、ランチミーティングでわたしにプレゼントをしている1Cの生徒たちです。

このような姿を見ながら「学ぶってなんだろうか」と考えてしまいました。そうです。これは、4月の学習オリエンテーションでみなさんにおきいたことです。1年経って、どのような答えにたどり着いたでしょうか。勉強、学習、学びの違いはなんでしょうか。勉



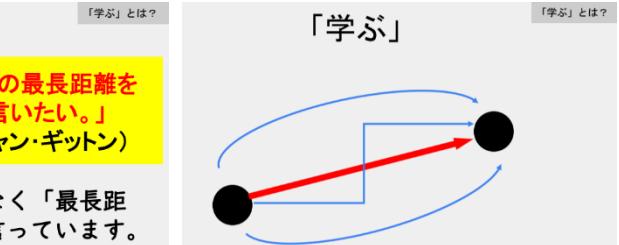
強は、「物事を習い覚えること」「与えられた課題をこなす」という意味があります。学習は、「学び習うこと、真似をして慣れること」という意味があります。そして、学ぶとは、「能動的に教えを受けること、積極的に技術・知識を習得すること」です。能動的、積極的だっただろうか、一人一人振り返ってみてください。このように考えていくと、学校で学ぶ意味が明らかになってきます。附属中の学びは、教科横断的（つまりいろいろな教科にまたがって考えること）、問い合わせを連続させる（つまり一つの問い合わせから続けて問い合わせが生まれること）を大事にしています。わたしは、附属中は、「自分が興味をもったこと、解き明かしたいことをとことん追究したり、探究できたりするところ」だと思います。

「学校とは一点から一点への最長距離を教えるところである、と私は言いたい」これはフランスの哲学者ジャン・ギットンの言葉です。彼は、学校は「最短距離」ではなく「最長距離」を教えるところだと言っています。当然、最短距離の方がいいに決まっています。しかし、二つの点を結ぶ線は、最短距離の直線だけではありません。それこそ数限りない数の線が引けます。時の移り変わりが激しい今だからこそ、時の経過を振り返り、見つめなおしたりすることは、本来とても大切なことだと思います。時にはあえて回り道をしたり、立ち止まってみたり、一見ムダと思われることも経験してみたり、そのなかから学ぶこと、感じ取ることは決してムダではないと思います。みなさんは、どう思いますか？

そして、学びあうのは、生徒同士だけではありません。教職員も、生徒を教え、生徒から学ぶ、そういう学校でありたいと私は考えます。私自身も、生徒のみなさんから多くのことを学びました。ぜひ、これからも、学ぶ姿勢、学ぼうとする姿勢をもって、お互い学びあっていきましょう。

今日はそんな学びの姿を一つの結果として残してくれた二つを表彰します。一つは、「附中一『使いたい！』と思えるロッカーブルーバー」1Cのグループです。ちなみに受賞したロッカーブルーバーはこちらです。

続いて、「学校生活を『より良く』するシステム作り」2Aのグループです。ちなみに受賞したのはこのようなゲームです。



今日、こうして体育館に集まっていますが、このメンバーで体育館に集まるのはこの終業式が最後です。1年生は、学校生活にも慣れ、自信と責任感あふれる言動が多くなりました。2年生は力をつけ、リーダーシップをとれるようになりました。3年生は、学校の顔としてあらゆる場面で活躍してくれました。それぞれの学年にふさわしい成長ぶりです。わたしはこの学校の生徒を誇らしく思います。今年度もよく頑張りました。こういった皆さんとの今の姿を見ていると、令和6年度がみなさんにとって大きな意味をもつ1年間だったということが分かります。1年間に学ぶべき学習の修了を認めるのにふさわしい一人一人の成長ぶりだと思います。再び皆さんにお会いするときは、1学年ずつ進級し、新たな仲間との生活の始まりです。これまでみんなで創ってきた財産は一人一人の中に、しっかりと残っています。それを土台に、自信と希望をもち、次の年度に立ち向かって行きましょう。1・2年生全員の進級と3年生全員の卒業を認めます。

明日は卒業式となります。明日の卒業式は、卒業生と保護者、教職員で挙行いたします。式場に在校生は入ることはできませんが、3年生の残り姿を感じながら、準備でぜひ心を込めてもらいたいと思います。1、2年生は明日から3年生は明後日から春休みになります。健康や事故に十分気を付けながら新年度である令和7年度の準備をしてほしいです。1年間校長講話を聞いていただき、ありがとうございました。



### 卒業記念品

今年度の卒業生より、卒業記念品として「体育館ステージ袖幕」をいただきました。卒業生、そして、保護者の皆様、大変ありがとうございました。大切に使わせていただきます。なお、設置は4月中旬頃の予定です。